

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 心不全患者におけるベリシグアトのリアルワールドエビデンス 』

研究機関名 大阪急性期・総合医療センター

研究責任者 心臓内科 職位・氏名 副部長・菊池 篤志

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は心不全患者さんにおけるベリシグアトの安全性および有効性を検証することを目的とした研究に使用します。

この研究で得られる成果は、本邦の心不全診療の発展につながることを期待できます。

【他機関への提供】

収集した試料・情報は解析・管理のため国立循環器病研究センター・情報利用促進部・金岡幸嗣朗に提供します。提供は第三者の閲覧が不可能な形でアクセスを制限した国内サーバー下のクラウドシステム上で行います。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年6月より提供を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

大阪急性期・総合医療センター 総長 嶋津 岳士

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2021年6月～2023年9月までに大阪急性期・総合医療センター心臓内科において、心不全治療としてベリキューボ錠の投薬を受けた方
方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大森病院 研究代表者: 松本新吾 役職: 助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大森病院(松本新吾)および国立循環器病研究センター(施設代表医師: 北井豪、施設分担医師: 金岡幸嗣朗)で主にデータの取り扱いが行われます。

その他に、本研究は多施設共同研究として行われるため、データが統合された後に下記の参加施設にも情報が提供されます(兵庫県立淡路医療センター、岩手医科大学附属病院、順天

堂大学病院、慶応大学義塾大学病院、奈良県立医科大学、奈良県立医科大学、北里大学病院、国立循環器病研究センター、久留米大学病院、東海大学付属病院、大阪急性期・総合医療センター、日本医科大学、日本大学病院、近畿大学病院、聖マリアンナ医科大学、愛知医科大学、埼玉県立循環器呼吸器病センター、福岡赤十字病院、総合東京病院、小倉記念病院、大阪市立大学、千葉大学医学部附属病院、東邦大学医療センター大橋病院)。

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

大阪急性期・総合医療センター 心臓内科 菊池 篤志

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

大阪急性期・総合医療センター 心臓内科

職位・氏名 副部長・菊池 篤志

電話 06-6692-1201